



天橋園だより

TENKYOEN NEWSLETTER

社会福祉法人 北星会
総合在宅支援 天橋園
〒626-0033京都市宇宮津市宇宮村1277番地
TEL0772-22-0320
発行責任者：小奥光明

北星会
ホームページ



北星会
LINE

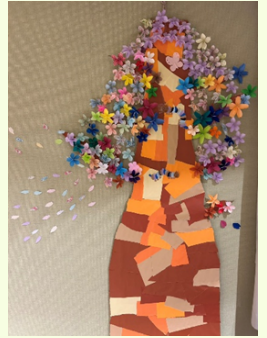
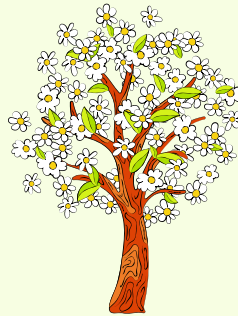


2026 5月
VOL.20

グループホーム天橋の家 -グループホームも花ざかり！-

桜が満開を迎えた時期に、利用者の皆さまと一緒に宮津市民球場まで『お花見ドライブ』に出かけました。車窓から見える桜並木に、「ようけ桜が咲いとるわあ〜」「今が一番見頃だなあ」といった声上がり、皆さまに春の景色を大変喜んでいただきました。

外出だけでなく、グループホームの中にもご利用者の皆さんと協力して花を飾り、色とりどりの“桜”を咲かせました。外と中の両方でお花見ができ、春のひと時を楽しみました。



天橋園通所介護事業所 -なんにでもなる木が、桜から藤に大変身！-

天橋園デイサービス名物



なんにでもなる木

藤の花にちなんだ

豆知識



藤の花といえば…

4月24日は元伊勢籠神社(通称:一の宮さん)で葵祭りが執り行われました。元伊勢籠神社の葵祭の由来は、約2,500年前に始まったと伝えられる古い祭りで、もとは「藤祭」と呼ばれていたものが、欽明天皇(きんめいてんのう)の時代に賀茂祭が「葵祭」と称せられるに及んで、元伊勢籠神社の祭りも「葵祭」と呼ばれるようになったと伝えられています。籠神社ともゆかりの深い京都の賀茂社の葵祭では、宮司が冠に葵の葉を付けるのに対し、籠神社では宮司が藤の花を挿すのが古例となっています。

ハウゼ天橋通所介護事業所 ーご利用中の様子！ー

ドライブで間人の大成古墳群を訪れた際には、一面にハマダイコンの可憐な花が咲き誇り、ご利用者の皆さまを楽しませてくれました。また、由良駅前の桜の木には「大きな穴にフクロウがいる」との噂があり、確認に行くと、巣の中には卵が二つ見つかりました。残念ながら親鳥の姿は見られませんでした。静かに子育てが進んでいる様子。

天橋園の庭にも桜や花壇の花々が美しく咲き、ご利用者の皆さまからは「よい花見ができた」と喜びの声が寄せられ、素敵な笑顔を見せてくれました。



天橋園居宅介護支援事業所 ー地震対策を兼ねた模様替えー

近頃、全国各地で地震の報告があり、宮津もいつなにか起きてもおかしくない状況で不安を感じています。

事務所内には書類管理のためのロッカーがありますが、二段重ねなのに固定していないことに気づきました。大きな揺れが来た時には上部のロッカーが落ちてくる危険性があり、職員のあいだでも、「もし地震が起きたら危ないのではないか」という声上がり、対策を練る機会となりました。

春になり心機一転、地震に備え模様替えをしました。これで地震が来ても書庫ロッカーが落ちてくる心配がなくなりました。

また玄関入ってすぐの場所に新しく相談コーナーを設置し、会議室スペースもできました。事務所に来られた際にご利用していただけたらと思います。施設内の防災対策を定期的に見直して、ご利用者にも、職員にも過ごしやすい環境を整えていきたいです。

<Before>



<After>

